



平成26年度に向けた保健福祉部の施策の基本方針 『だれもが幸福とくしまづくり』と『生涯健康とくしまづくり』を推進

平成25年11月定例会(付託)
文教厚生委員会(保健福祉部)

現状・課題

- I 2025年問題(超高齢社会)が、全国に先駆けて到来!
- ◆本県高齢者人口のピークは2020年

持続可能な社会保障制度の確立が急務!

◆今後の課題

- ・国保の県移管・介護保険制度の見直し
- ・「地域医療ビジョン」策定(H27)への取り組み
- ・「地域包括ケア計画」(H27～)策定(第6期介護保険事業支援計画)

H26から新・社会保障
制度がスタート

社会を支える新たな仕組みづくりが必要!

II 平均寿命と健康寿命に大きな隔たり

	平均寿命	健康寿命	差
男	79.44歳	69.90歳	9.54年
女	86.21歳	72.73歳	13.48年

◆糖尿病死亡率全国ワースト1

不健康な期間

新たな視点で、全庁での取り組みが必要!

III 大規模災害や新感染症等における健康危機管理体制の強化が急務!

対策の更なる強化・加速化が必要!

取組みの柱

I 社会保障新時代に向けた「課題解決策」を提案

①地域の絆づくりプロジェクト

誰もが地域保健福祉サービスの担い手となる仕組みづくりにより、互助・共助の社会を実現する。

②在宅医療・介護推進プロジェクト

在宅ケアの充実を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を実感できる社会を実現する。

③こども・はぐみ推進プロジェクト

結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ないサポート体制の充実により、“子育てするなら徳島!”を実現する。

II 健康寿命アップ推進戦略

全ての世代を通じた健康づくりを推進～脱!「糖尿病死亡率ワースト1」の実現～

- ・「食育」の推進・「地産地消」の拡大
- ・地域の資源を活用した「運動」の推進
- ・「からだ」と「こころ」の寿命延伸

III 健康危機管理体制の強化

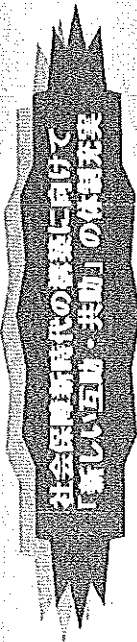
- ・大規模災害時の広域相互応援体制の強化
- ・災害時要援護者対策の推進

社会保険新時代に向けた「課題解決策」

地域の絆づくりプロジェクト

誰もがサービスの担い手として活躍できるステージを創出

- 高齢者を地域で支え合う環境づくりの推進
- 生活困窮者の自立促進
- がんに理解ある社会づくりの推進
- 閉鎖団体との連携による自殺防止対策の推進
- 団塊の世代との協働による健康づくりの推進
- 介護人材の確保・定着の促進



在宅医療・介護推進プロジェクト

長寿先進県・徳島ならではの在宅医療・介護体制モデルを構築

- 多職種連携による在宅医療・介護体制の構築
- 「医療と介護」の連携を推進
- 訪問看護の機能強化
- 地域包括支援センターの機能強化



子どもはぐくみ推進プロジェクト

結婚・妊娠・出産・子育て・働き方を切れ目なくサポート

- 婚活支援の充実
- 産後の母子に対する相談支援
- 保育所等児童福祉施設の整備
- 経済的負担の軽減（子どもはぐくみ医療費助成制度、多子世帯保育料減免等の継続）
- 児童虐待の防止
- 男女共同参画交流センター機能の充実



健康寿命アップ推進戦略

食育推進プロジェクトの取組

- ◇「食育」の推進・「地産地消」の拡大
 - 糖尿病重症化予防対策の推進
- ◇地域の資源を活用した「運動」の推進
 - 「阿波踊り体操」の全県展開・普及啓発の推進
 - 「からだ」と「こころ」の寿命延伸
- ◇統計データに基づき地域の健康課題への取組を推進
 - がん予防対策の推進
 - 地域で支える認知症対策の推進
 - 口腔ケア・COPD対策の推進

健康危機管理体制の強化

- ◇大規模災害時の広域相互応援体制の強化
 - 災害時公衆衛生支援体制の構築
 - 公衆衛生医師、保健師等のチームによる相互応援体制の構築
 - DMAT（災害派遣医療チーム）の更なる養成・広域訓練実施
 - 拠点となる医療機関への複数配置
 - 災害医療情報システムの機能拡充
- ◇災害時要援護者対策の推進
 - 「県災害時要援護者支援対策マニュアル」改訂等による市町村の取組を支援
- ◇新感染症等への対応
 - 「徳島県新型コロナウイルス等対策行動計画」に基づく医療体制の充実

高齢者支援

- ◇障害者の自立と社会参加の促進
 - 授産製品のブランド化と全国展開を推進
 - 発達障害者総合支援センター機能の充実
 - 東京パラリンピックに向けたスポーツ振興
 - 優れた技能を有する障害者を表彰

- ◇持続可能な国民医療制度の確立・維持
 - 後発医薬品の利用促進

- ◇人権を尊重する社会づくりの推進
 - 若年層へのDV予防啓発の推進